

令和元年度新生太宰府元年！主な事業

だざいふ未来投資予算に沿って、次のような事業を行いました

問い合わせ 経営企画課 企画政策係 ☎内線535

プラン 1 市民参画の行政、街づくりで地域創生

①広報戦略関係事業 ▶ 12,432千円

庁舎前での職員による朝のあいさつ運動をはじめ、われわれ市職員にとって市民お一人お一人がお客さまであるという基本に立ち返るとともに、職場の活性化を図りました。また、三役会議、経営会議を正式に訓令で規定し、より市民本位かつ迅速な意思決定にも努めました。

②まちづくりビジョン会議事業 ▶ 699千円

従来の総合戦略会議を新たに太宰府のまちづくりビジョン会議と位置付け、内外の幅広い人材を募り、中長期的視点や広域的視野を論点に自由闊達な意見交換を行い、第2期「太宰府市まち・ひと・しごと創生総合戦略（通称）まちづくりビジョン」を策定しました。



プラン 2 学問の神様にふさわしい教育、子育て

①学校ICT環境整備事業 ▶ 12,962千円

学力の更なる向上を目指すため、近隣他市に先駆け、学校へのICT支援員の派遣とICT環境の整備を、計画的・段階的に行いました。

②小学校水泳事業民間委託事業 ▶ 10,450千円

児童生徒への効果的な水泳の技能獲得支援と教職員の負担軽減、改修費節減などを目的として、市内2小学校の民間プールを利用した水泳授業を実施しました。

③計画的学校施設大規模改造事業 ▶ 477,733千円

市内小中学校の特別教室に空調設備を整備し、太宰府東中学校では、校舎トイレの全面改修、水城西小学校、太宰府中学校では、教室棟の大規模改造を行い、学びやすい学習環境の整備および公共施設のトイレ洋式化を推進しました。

また、個別施設整備計画の早期策定に向け、学校施設整備基本構想案の検討を進めました。

④小・中学校給食事業 ▶ 9,004千円

学校給食の質や量の維持を図るため、学校給食会に食材費を補助しました。今後も本市の子どもたちの健

全な成長を最大限サポートしていきます。

⑤保育施設整備事業 ▶ 328,167千円

小規模保育施設を1園公募し、特に待機の多い3歳未満児の待機児童の解消や、既存施設についても増改築などに合わせて事業者と協議しつつ、定員のさらなる増加を図りました。

プラン 3 徹底した行革と超成長戦略で財政再建

①ふるさと納税事業 ▶ 184,348千円

新元号「令和」とのご縁をいただいた慶びを多くの皆さんと共有すべく、『時の旅人プロジェクト』を実施し、クラウドファンディングによる記念モニュメントの除幕式を行いました。また、大商談会、試食会、筑陽学園野球部・サッカー部全国大会出場応援クラウドファンディング、プラタモリコースや電子感謝券のコト消費など、新たな試みに積極的に取り組みました。



②創業支援事業 ▶ 1,990千円

市内創業をさらに促すため、創業塾修了者や商工会の創業者向け個別経営指導を受け、実際に市内にて創業する方に対し、事業開始時に必要となる費用の一部を補助する制度を新設しました。

プラン 4 積極的広域連携による大太宰府構想

①コミュニティバス運営事業 ▶ 153,898千円

市長と語る会などで要望を受けた路線延長についても可能な限り柔軟かつスピーディーに検討を続けました。今後、運行データの分析をし、効率性向上を念頭に置いたダイヤ改正などを進めてまいります。

さらに、地域公共交通活性化協議会において、持続可能な公共交通網の構築を検討しました。

②観光連携事業 ▶ 9,629千円

観光推進基本計画の実践として、県物産会振興会との連携事業や西鉄および沿線7自治体による共同プロモーションを実施し、近隣とも積極的に観光連携を進めることで本市内外の回遊性を高め、消費単価の向上

を図りました。

また、九州国立博物館を中心とした実行委員会を組織し、文化財などの地域資源を活用して太宰府の魅力を国内外に発信し、地域経済、地域社会の活性化を図る事業を展開しました。



プラン 5 環境重視の逆転発想で渋滞解消

①渋滞解消事業 ▶ 18,650千円

ロードプライシングも視野に入れた交通誘導施策やパークアンドライド・シェアサイクルの活用など本市にとって最善の方策を検討しました。

また、道路網と公共交通網の計画策定に向け、人の移動動向を調査分析し、持続可能な公共交通網の構築に向けた検討を進めました。

②道路改修計画事業 ▶ 409,472千円

舗装の個別施設計画を策定し、補助事業や起債事業の対象となる路線を増やすことで、少しでも多くの自治会要望に対応できるよう努めました。

また、必要に応じて計画の見直しを行い、計画的に事業を進めていくことで安全かつ快適に通行できるよう整備しました。併せて、市内を縦横断する国道・県道の維持管理や整備についても、引き続き要望しました。

プラン 6 民間の知恵を生かした高齢者福祉

①地域包括ケアシステム構築事業 ▶ 39,128千円

市域の西側を担当とする念願の地域包括支援サブセンターを設置しました。令和2年4月1日から業務を開始し、相談支援体制を強化しています。



②福祉タクシー運営委託事業 ▶ 8,279千円

心身に重度の障がいのある人の日常生活の利便と社会活動の範囲の拡大を図るため、初乗り運賃助成のタクシー券を年間48枚から60枚に拡大しました。

プラン 7 防衛省自衛隊と連携した市民の安心安全

①災害対策事業 ▶ 2,759千円

自衛隊の助言を頂きながら作成した豪雨災害被害想定に基づいて、市職員による防災訓練（机上訓練）を実施しました。

また、自衛隊、福岡県、太宰府市他7市などと連携し、令和5年度を目標に警固断層地震対処計画を策定するため、関係機関検討会議を年2回ペースで実施しました。

②消費者行政・啓発事業 ▶ 5,178千円

太宰府市消費生活センターにて消費生活に関するさまざまなトラブルの相談を受け付けました。また、出前講座や市広報および街頭での啓発を行うとともに、庁内関係課で構成している「消費者安全確保地域連絡会議」において消費者トラブルに関する情報共有、連携を図り、消費生活上のトラブルを未然に防止しました。

その他 第五次総合計画後期基本計画事業

①ごみ減量72,000人プロジェクト ▶ 31,371千円

ごみ減量は、全市民の生活に密着した問題であることを踏まえ、「～もう一歩進もう～ごみ減量72,000人プロジェクト」として、啓発冊子の配布、「古紙等資源再利用事業奨励金」の増額などを行い、常に社会経済情勢の変化に対応し、効果的・効率的なごみ減量に取り組みました。

②人権政策事業および男女共同参画推進事業 ▶ 15,589千円

「部落差別解消推進法」や「障害者差別解消法」ならびに「ヘイトスピーチ解消法」、いわゆる人権3法の成立など社会情勢の変化に即して現行の「人権尊重のまちづくり推進基本指針」を見直した上、新たな指針に基づく実施計画を策定し、更に積極的に課題の解決を図りました。

また、「第2次太宰府市男女共同参画後期プラン」に基づき、社会のあらゆる分野において男女が共に参画し、責任と喜びを分かち合い、性別に関わらず個人の能力と個性が発揮できるまちづくりを進めました。